



シマダカラ芸術祭とは？

2012年から2017年まで開催された「イチハナリアートプロジェクト」は、うるま市の5つの島々を舞台に、多くの人々がアートに親しむ機会をつくりだしてきました。その後、島人や作家を中心に、島で行うアートプロジェクトのあり方を考える対話を重ね、イチハナリアートプロジェクトは「うるまシマダカラ芸術祭」に生まれ変わりました。

うるまシマダカラ芸術祭の「シマダカラ」には「それぞれの島に存在する人、文化、自然などはシマ(島)のタカラ(宝)である」という意味と、「シマダカラ(島だから)できる芸術祭をめざす」という2つの意味があります。

島という資源の少ない環境で「手元にあるモノを活かして暮らしを紡いできた創造力」。外から来た異質な存在である「マレビトを取り入れてきたダイナミズム」。現代アート、デザイン、食、工芸など約30組の作家たちが島に通いながら、島人と共に多彩な作品を生みだしました。

舞台はうるま市の5つの島々

うるまシマダカラ芸術祭の舞台は、海中道路でつながる4つの島々(平安座島、浜比嘉島、宮城島、伊計島)と、フェリーで行く津堅島です。赤瓦の古民家、サンゴの道、水が溢れるカー(井戸)など、沖縄の原風景が残る5つの島には合わせて約 3,000 名の方が暮らしています。

それぞれの島を見てみると気づくのは、その違い。島ごとに地形や風土が違うため産業や行事のあり方も異なり、海中道路がつながる約47年前の島々は、異なる文化や生活が根付く独立した5つの島だったということが今も感じられます。

今回のメイン会場は浜比嘉島の「旧浜中学校」。平成24年に廃校になった旧浜中学校が、様々な作家の作品展示やワークショップ、島の特産やアーティストグッズを集めたミュージアムショップ、島人とゆんたくできるカフェなどを併設した「島の美術館」に生まれ変わります。

また、沖縄の原風景が残る伊計島と宮城島にも作品を展示。車は駐車場に止め、島の風景を楽しみながら集落を散歩し、古民家などに展示してある作品をご覧ください。疲れたら島の休憩スポットで一休み。島の生きるアートである島人達も遊びに来るかもしれません。

島の記憶と、未来が対話する場所へ。

うるまシマダカラ芸術祭



メイン会場：浜比嘉島旧浜中学校まで

- ・那覇空港から車で約1時間20分※近隣駐車場あり
- ・海中道路入口から約10分
- ・路線バス：伊計屋慶名線「浜漁港前」下車徒歩3分

浜比嘉島旧浜中学校から各展示エリアまで

- ・伊計エリアまで車で約20分、宮城エリアまで車で約15分
- ※各エリアとも駐車場約20台分あり
- ・路線バス：伊計屋慶名線「伊計共同売店前」まで約30分

※ご注意：津堅島では、今回展示はございません。
12月10日(旧暦11月14日)に津堅島に伝わる行事マタンコーが開催されます。ぜひ、足をお運びください。
平敷屋港からフェリーで約30分

グッズ販売
メイン会場の旧浜中学校1階には、うるまシマダカラ芸術祭オリジナルグッズや出展作家のグッズ、また5つの島のお土産品をとりあつかう五島共同売店が期間限定オープンします。ぜひお立ち寄りください。

飲食店情報
各島、また、うるま市内にも、地元の食材を使った飲食店や、うるま市を拠点に様々な作家活動をされている方の作品を手に行けるお店が多数あります。店舗情報などはメイン会場受付やうるま市観光物産協会にも設置しています。

土日祝日を中心に、各エリアでイベントも開催される予定です。詳しくはWEBをご覧ください。

島のアート巡りを楽しむために

爽やかなあいさつを心がけましょう
集落内などで住民の皆様や他来場者を見かけたら、あいさつを交わしましょう。何かのきっかけになるかも。

安全運転を
島内や集落は細い道が多く住民の方も通ります。蓋のない側溝も多いのでスピードの出しすぎには十分注意しましょう。

駐車場あります
各集落内に駐車スペースを設けています。駐車スペース以外での駐車は事故の原因にもなりますので路上駐車はやめましょう。

作品への配慮
作家、住民の皆様が協力してつくった大切な作品です。壊したり、傷つけたりしないようにしましょう。

マナーを守りましょう
空き家、空き地など集落の生活の場を舞台に作品を展示しています。勝手に庭先に入ったり、作品や風景以外の写真を撮るのにはやめましょう。ゴミはお持ち帰りください。

会 期：2019年11月1日(金)～11月10日(日)
時 間：10時～17時 ※時間外に行う企画もあります
会 場：うるま市島しょ地域
メイン会場：浜比嘉島 旧浜中学校(沖縄県うるま市勝連浜19)
集落展示：伊計島伊計区内、宮城島宮城区内
料 金：1名500円 ※一部別料金コンテンツあり ※高校生以下無料

主 催：うるま市、島アートプロジェクト実行委員会
共 催：琉球新報社
後 援：うるま市議会、うるま市教育委員会、うるま市文化協会、うるま市商工会
協 力：伊計自治会、池味自治会、上原自治会、津堅自治会、桃原自治会、浜自治会、比嘉自治会、平安座自治会、宮城自治会(※五十音順)
事務局：一般社団法人うるま市観光物産協会

お問い合わせ 一般社団法人うるま市観光物産協会
電 話：098-978-0077 FAX：098-978-1177
メー ル：info@uruma-ru.jp

公式サイト：uruma.shimadakara.jp
Facebook：uruma.shimadakara.art
Instagram：uruma.shimadakara



うるまシマダカラ芸術祭

島の記憶と、未来が対話する場所へ。

「うるまシマダカラ芸術祭」は、うるま市の5つの島を舞台に開催されてきたアートフェスティバル「イチハナリアートプロジェクト」の後継イベントです。現代アートに加え、デザイン、食、工芸などの約30組の多彩な作家たちが、沖縄の原風景が残る5つの島の島人と共に作りあげる芸術祭です。